

よえもん

-Yoemon-

今月のことは

いよいよ
雪の季節...。大掃除に
年賀状... やることがいっぱい!!

2013年12月 第8号

シリーズ
よえもん

大洲のよえもんさん
-えらい人たちの話-



よえもんさんがいた頃、大洲(現在の
愛媛県大洲市)は城下町でした。
よえもんさんは、「藩のえらい人と出会う
ことも増えるだろうから、行儀や言葉に
気を付けて暮らそう」と考えました。



いつ、どんな人に出会っても良いように、昼も夜も行儀や
言葉づかいに気を付けてすごしました。

ある夜、家老(大名に仕える人で一番上の役職)
と、五人ほどの藩の政治に関わる人物が、おじいさん
を訪ねて来ました。よえもんさんは、「藩の優れた
人ばかりだから、きっと政治の話や役に立つ話を
されるのだろう」と思い、隣の部屋で耳をすませ
て話を聞くことにしました。



しかし、出てきた話は
いつものお客さんと同じ
ような世間話ばかり
でした。

よえもんさんは、「藩の優れた
人でもつまらない話をするんだ
な」と、思ってしまいました。
それは本当につまらない話

だったのでしょうか?
人それぞれ、違う物を見て、違う思いを持ちます。
どんな人の話でも、聞けば「学が」となるはず
なのです。

そのことをおじいさんから指摘されたよえもんさんは
知らず知らずのうちにうぬぼれていた自分に
気がき、ますます「正しい人」を目指すように
なるのです。

それ学問は
心のけがれをきよめ
身のおこないを
よくするを本実とす。

喜洲田瑞穂さん
出典: 翁問答下巻之本

藤樹先生が33、4歳の頃に著された
「翁問答」の中のことはです。
そもそも学問の目的は、心の中にある汚れ
を取り除くことと、日々の生活の行いを正し
くすることにあるのです。高度な知識を手
に入れることだけが学問だと信じている人
からすれば、奇異であるかもしれませんが、
そのことにより、いせ人を侮ったり見下してしまう
心に深く染まっている人がたくさんいて、
藤樹先生は嘆いています。

記念館さんぽ

12月から1月にかけて、記念館正面、
神社への道と良知の道(陽明園)の神社
側に千両と万両の赤い実を見つけ
ることが出来ます。千両も万両も、大金を
表す名前がついているため、正月の
縁起物として用いられてきました。
千両(草珊瑚)は、葉の上に、上向
きに実が付き、万両(ヤブタバコ)は
葉の下に下向きに実が付き、
どちらもそっくりですが、
実のついている位置で
見分けることが出来ます。

近江聖人 中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69

TEL・FAX (0740)-32-0330

中江藤樹の顔展 開催中

